

リハビリ職員による訪問事業
健康寿命延伸プロジェクト

大野城市 × NPO法人FSA

MADOKA

～ 想いは共働～

リハビリ職員による訪問事業実行委員会

- ・ NPO法人FSA
- ・ 大野城市すこやか長寿課・介護支援課



はじめに NPO法人FSAとは

体力測定 しませんか？

2020年2月13日(木)
10:00 ~ 15:00 頃
BiVi 福岡 1F
入口イベントスペース
参加費：500円 予約不要！

最近ひざが痛くて…
知らない間にひざに負担をかけていませんか？
専門家が負担をかけない毎日の動きをアドバイス！

めざせ健康長生き！
ぜひ定期的に体力測定しましょう！
日々の自分の体力を把握して健康 Keep

健康教室

予約不要
先着20名！
どなたでも
参加可能！

本当に知っていますか？糖尿病！

病って
な病気？
どうなっ
ていて
った症
状が
のどし
うか？

糖尿病と上手く
付き合うためには？
知って得する
食事・運動・生活の
ワンポイントアドバイス！

2019年7月3日(水)
10:30 ~ 11:30
ボランティア交流センター
あすみん 4F
参加費用
500円

開催予告

2019年8月21日(水)
10:30 ~ 11:30
“健康寿命”の鍵を握る
フレイル予防

NPO法人FSA
fsa.kaigoyobou@gmail.com(大野)
https://m.facebook.com/fsa.kaigoyobou
http://npo-fsa.com/

NPO法人FSA
fsa.kaigoyobou@gmail.com(大野)
https://m.facebook.com/fsa.kaigoyobou
http://npo-fsa.com/

NPO法人FSA 2016年設立
リハビリ専門職の有志団体

2018年度より介護予防事業部が発足
福岡市を中心に活動

2021年度より大野城市共働事業を開始

1

2

3

4

5

6

7

8

9

共働事業における強み

FSAの
知識と技術



お互いを
補足する関係



大野城市の
ネットワーク



1

2

3

4

5

6

7

8

9

背景

大野都市の現状と課題

基本理念

「みんながつながり・支え合う あたたかな福祉のまちづくりを進めよう」

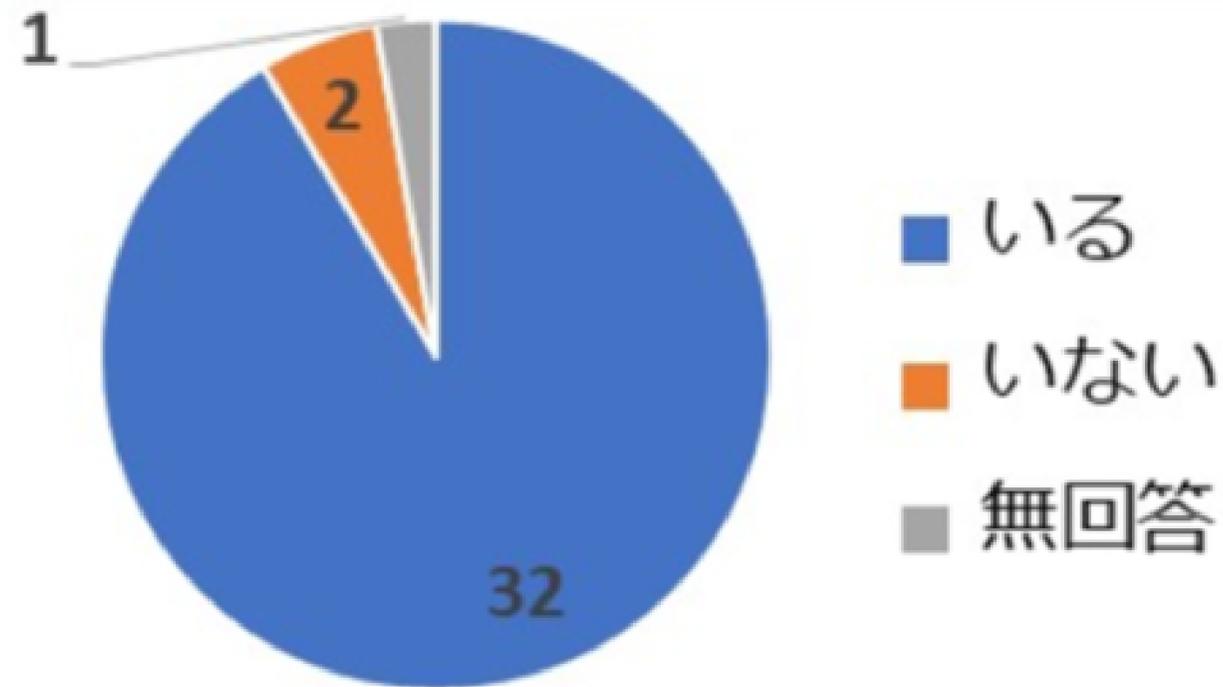
	令和4年	10年後	20年後
高齢化率 (人数)	約22% (約2.2万人)	約25% (約2.6万人)	約31% (約3.2万人)

背景

大野城市の現状と課題①

— ケアマネジャーへのアンケートより —

Q2. 今までにサービス導入に至っていない方はいますか。



【主な理由】

- ・ 集団での活動が苦手
- ・ 他のサービスを優先したい
- ・ 必要性を感じていない



**個別支援による
自助・互助活動への促しが必要**

1

2

3

4

5

6

7

8

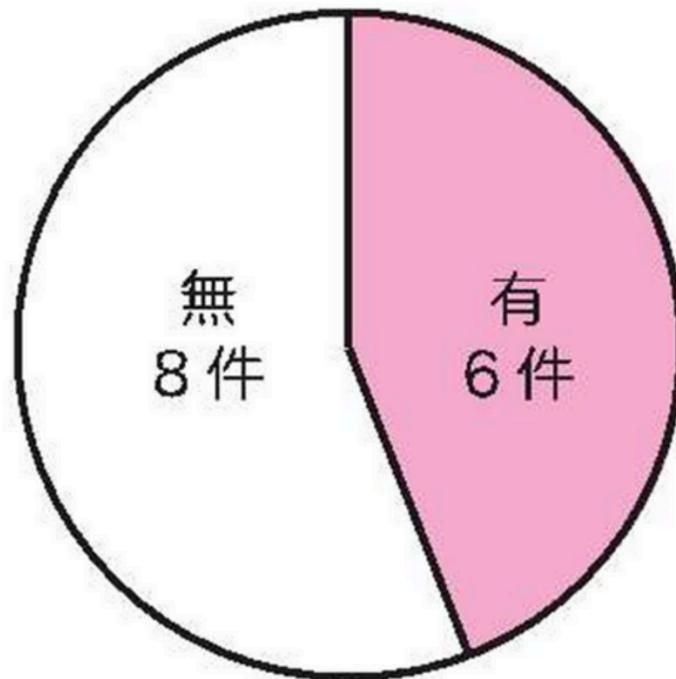
9

背景

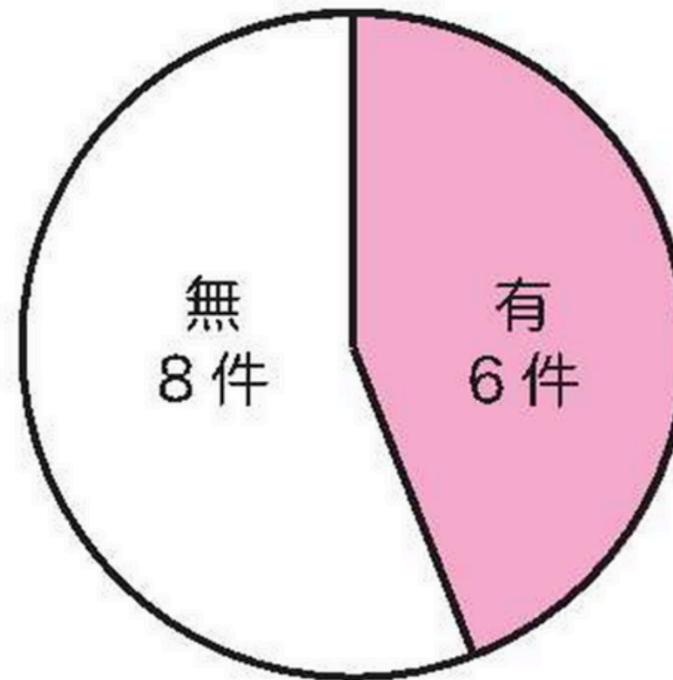
大野城市の現状と課題②

一通所事業所へのアンケートよりー

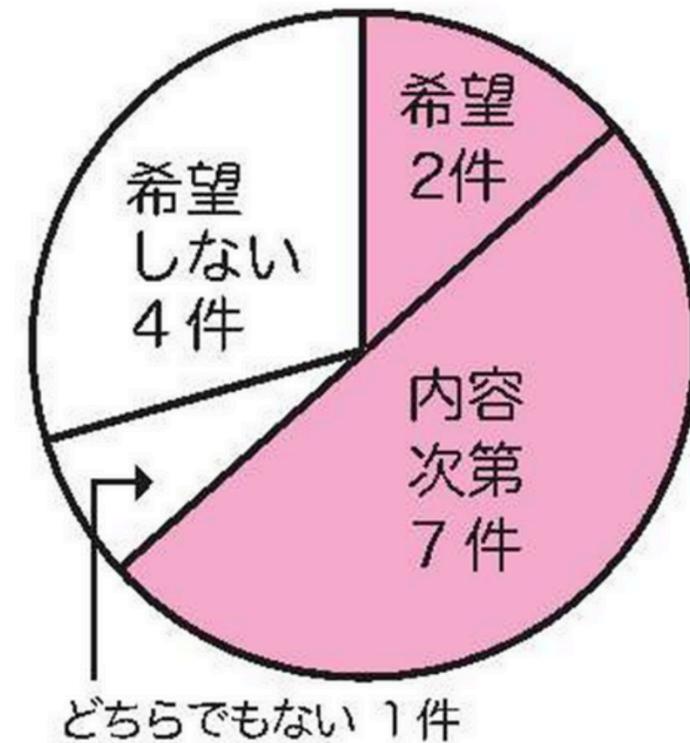
リハビリ・運動・レクリエーションを行う際に困っている事があるか。



運動指導や介助方法に難渋、又は介助による痛み等で困った事があるか。



リハビリ専門職員の訪問による助言等を希望されるか。



1

2

3

4

5

6

7

8

9

事業目的

要支援者等の身体機能およびADLの維持・改善を行い、
健康寿命の延伸につなげる

【事業内容】

訪問事業：要支援対象者のフレイル対策プロジェクト

通所事業：リハビリ難民救済プロジェクト

モデル事業：専門職のネットワークづくり

1

2

3

4

5

6

7

8

9

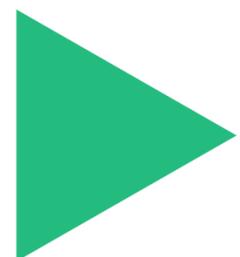
訪問事業

要支援対象者のフレイル対策プロジェクト

介入期間：3ヶ月間 訪問回数：計3回（月に1回）



対象者の抽出・準備



介入：評価・指導



電話：モニタリング



1

2

3

4

5

6

7

8

9

訪問事業 Case Study

90代 女性 要支援2

評価項目	初回	2回目	3回目
握力 (Rt/Lt)	13.8kg / 16.5kg	15.9kg / 10.9kg	15.2kg / 16.8kg
Time Up & Go	8.19秒	14.80秒	10.7秒
片脚立位時間 (Rt/Lt)	15秒over / 2.88秒	15秒over / 9.8秒	15秒over/ 15秒
SPPB : バランス	タンデム可 (4点)	タンデム可 (4点)	タンデム可 (4点)
SPPB : 4m歩行	4.28秒	5.37秒	4.62秒
SPPB : CS-5	33.25秒	28.8秒	26.7秒
Life Space Assessment	33/120点	55.5/120点	66/120点

1

2

3

4

5

6

7

8

9

訪問事業 Case Study

90代 女性 要支援2

介入効果： 筋力・立位バランス能力の改善、生活範囲の拡大

転倒リスクが軽減し、社会生活の拡大につながった。



ご本人様

- 自分では考えられないことも教えてもらえて良かった。
- 毎朝テレビ体操をするようになりました。



担当CM

- 運動指導内容についてわかりやすく継続しやすいメニューだと思いました。
- 要支援の方は、マンツーマンのリハビリ指導を受けることがあまりなく、利用者さんにも大変好評でした。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

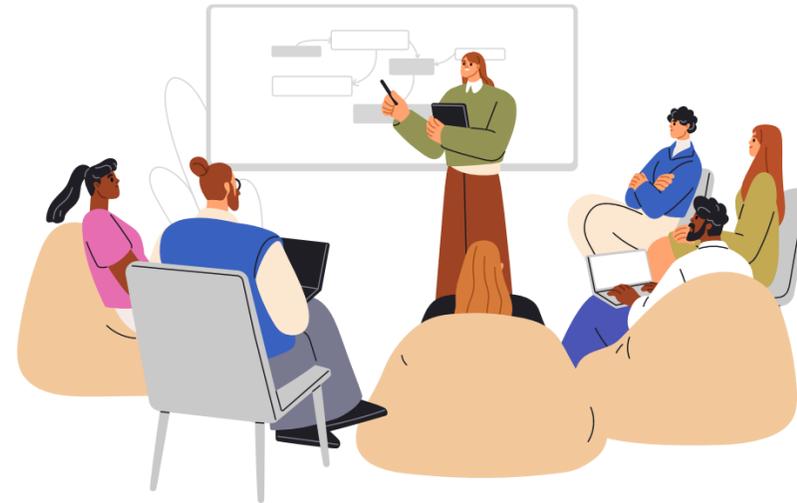
通所事業

リハビリ難民救済プロジェクト

リハビリ専門職のいない事業所を中心に出張講座



対象施設の抽出・準備



講義



実技

1

2

3

4

5

6

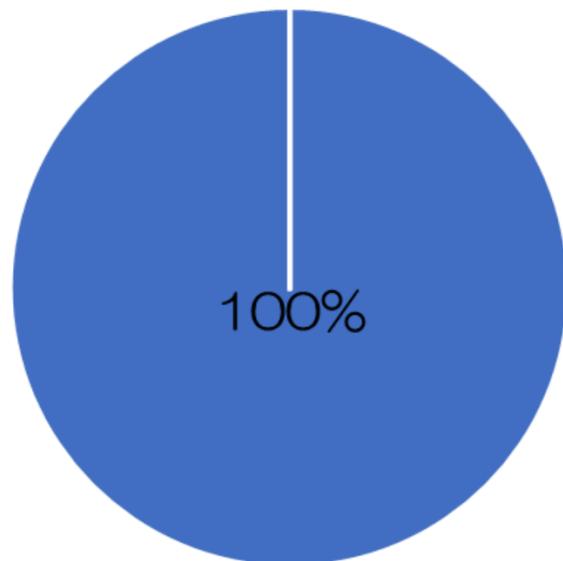
7

8

9

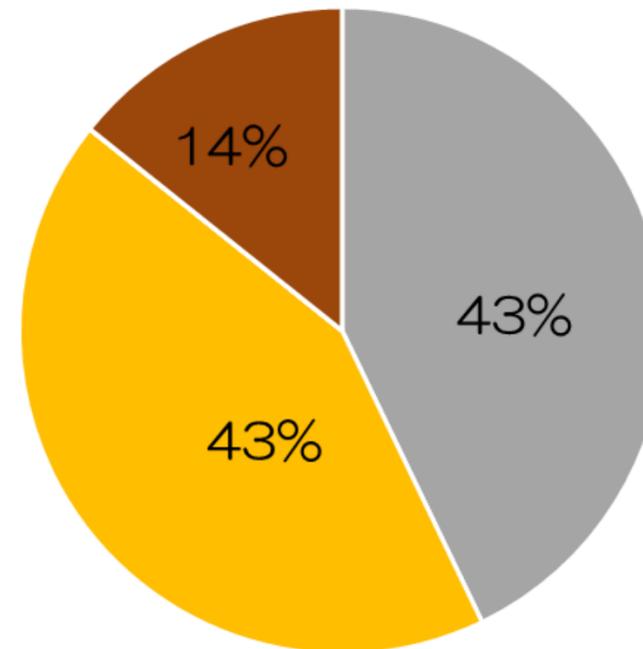
通所事業 Case Study リハビリり難民救済プロジェクト

Q. 今回の研修の満足度



- 非常に満足
- まあ満足
- どちらともいえない
- やや不満
- 非常に不満

Q. 今後、定期的に研修会を開催を希望するか



- もう十分勉強できたので必要ない
- 2、3年に1度
- 年に1回
- 半年に1回
- 3ヶ月に1回
- 2ヶ月に1回
- 毎月
- 未回答

1

2

3

4

5

6

7

8

9

共働事業の実績

訪問事業について



介入8名

22 件

身体機能

5 名

内的効果

6 名

1

2

3

4

5

6

7

8

9

共働事業の実績

通所事業について



事業所

4 件

リピート

1 件

満足度

100 %

1

2

3

4

5

6

7

8

9

訪問事業のまとめ

今まで

- 運動の定着や外出の増加などの一定の効果が認められた。
- 参加者のモチベーションの管理の難しさがあった。

これから

- 訪問サイクルの見直し
- ガイドブックの修正
- モチベーション維持のための道具の活用
- フォロー体制の確立

1

2

3

4

5

6

7

8

9

通所事業のまとめ

今まで

- 定期的な開催や個別の助言を求める声もあり、必要性を高く感じた。
- 派遣を希望しない事業所もあり、PR不足が考えられた。

これから

- 研修テーマのメニュー化
- 希望するテーマの選択化
- 個別相談に柔軟に応じる体制づくり

1

2

3

4

5

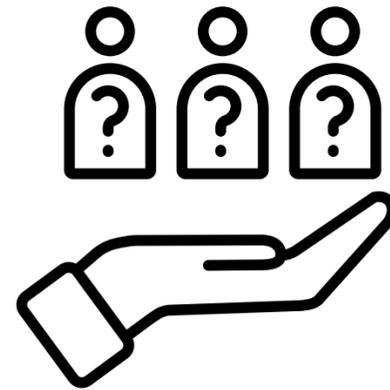
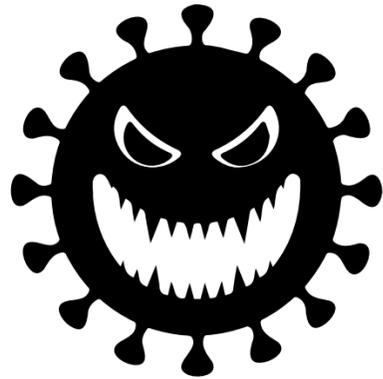
6

7

8

9

3年間の共働事業を経て

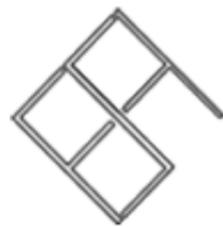


これからは **地域リハビリテーション活動支援事業** として



Thank You

今までも、これからも、「想いは共働」



NPO法人FSA

大野城市

